

材料加工理論／実習Ⅱ

選 択 開講年次：1 年次後期 科目区分：実 習 単 位：2 単位 講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：セラミックス、インダストリアルクレイ(以降"クレイ")と発泡材による造形基礎理論と実習を実施する。材料特性を知り、加工方法を習得するとともに、材料に適する造形技術、および、3次元の表現力、造形力を養うことを目的とする。

■**到達目標**：①材料の特性と加工方法を知る。
②材料特性に基づいた造形ができる。
③思い描いた造形を立体に加工できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎安齋 利典・張 浦華・山田 祥子

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 セラミックスオリエンテーション、基礎知識
- 第 2 回 タタラ作り
- 第 3 回 タタラ作り
- 第 4 回 ひも作り
- 第 5 回 ひも作り
- 第 6 回 仕上げ
- 第 7 回 素焼き釉薬かけ
- 第 8 回 窯詰め・講評／クレイ・発泡材オリエンテーション・基礎知識
- 第 9 回 発泡材の特性および加工方法、造形1：スケッチ、図面、ゲージ
- 第10回 発泡材による造形2：切削、仕上げ
- 第11回 発泡材による造形3：完成、評価
- 第12回 クレイの特性および加工方法、造形1：スケッチ、図面、ゲージ
- 第13回 クレイによる造形2：基本形状
- 第14回 クレイによる造形3：表面仕上げ
- 第15回 クレイによる造形3：完成、評価

* 前半セラミックス、後半発泡材／クレイと、前半発泡材／クレイと後半セラミックスの、2グループに分け、8週目4コマで入れ替えます。陶芸作品の引き渡しは第15回授業終了の2週間後。
(前半発泡材/クレイのグループは、第1回が、クレイ・発泡材オリエンテーション・基礎知識、となります。)

■**教科書**：適宜資料を配布する。

■**参考文献**：なし

■**成績評価基準と方法**：定期試験（中間および学期末）50%、授業内課題30%、授業態度・発表20%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート	◎			理解、習得技術に関するレポート	30
授業態度	○	○	○	積極的な姿勢。	20
発表					
課題・作品		○	◎		50
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：表現基礎、材料加工理論／実習Ⅰ

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業開始時に、一括購入する材料費(粘土、クレイ、発泡材等)として4,000円が必要となります。世の中にある製品の形状を、造形的視点から観察すること。特にセラミックスに関しては、日常使っている陶磁器に関して注意深く形状や仕上げを観察すること。